

ひとまずお疲れ様でした

センター試験が終わり、それぞれの成果が出たことと思います。自己採点の結果が良くても悪くても、それはもう終わってしまったことです。「自己採点したくない」「点数を報告したくない」といった人は切り替えという点で心配です。どう足掻いても当日に提出したマークシートに変化は起こりません。すぐにでもこれからのことを考えていきましょう。今日は今後のやるべきことについて考えてみます。

センター試験の平均点予想

教科・科目	配点	2017年(昨年)			2018年(今年・予想Ave.)		
		受験数	不動岡 Ave.	全国 Ave.	ベネッセ駿台	河合塾	
英語	筆記	200	352	145.4	123.73	120	126
	リスニング	50	352	32.8	28.11	25	23
国語	国語	200	248	128.6	106.96	111	103
数学	数学ⅠA	100	246	62.9	61.12	57	62
	数学ⅡB	100	211	53.2	52.07	49	49
地理歴史	世界史B	100	62	74.0	65.44	65	67
	日本史B	100	126	71.5	59.29	61	59
	地理B	100	99	63.0	62.34	65	68
公民	現代社会	100	40	69.4	57.41	57	53
	倫理	100	5	58.2	54.66	61	64
	政治・経済	100	36	73.3	63.01	63	54
	倫理&政経	100	23	65.3	66.63	69	72
理科①	物理基礎	50	8	37.6	29.69	35	32
	化学基礎	50	36	34.8	28.59	30	30
	生物基礎	50	90	43.2	39.47	38	34
	地学基礎	50	80	35.3	32.50	31	29
理科②	物理	100	77	64.3	62.88	61	62
	化学	100	116	55.0	51.94	61	59
	生物	100	52	77.4	68.97	68	62
	地学	100			53.77	57	58
総合	5-8 文系	900				551	543
	5-7 理系	900				559	558

注：ベネッセ駿台&河合塾の予想平均点は、1月14日(日)夜の時点での速報値。

これらはあくまでも予備校による「予想」平均点です。あれこれ考えるのは今週19日(金)にデータが返却されてからとして、今日からは国公立大二次・私立大対策に取り掛かりましょう。君たちに後悔や安堵をしている暇はないはずですよ。

個別・一般学力入試の対策上の注意 頭の切り替えの早い人が勝つ!

①センター試験の結果を引きずらない

センター試験で不本意な得点に終わった人は、結果をくよくよ引きずらないように。過ぎ去ったセンター試験の結果を悔やんでも点数は1点も上がりません。それよりも、一刻も早くこれからの国公立大二次や私立大に向けた対策に目を向けることの方が大切です。特に国公立大が本命の人は、併願する私立大の入試対策は不足しているでしょうから、悩んでいる暇などありません。前向きな気持ちが、二次試験にも生きてくるはずですよ。

②「マーク」から「記述」へ頭を切り替える

昨日まではセンター試験対策の勉強をしていたのですから、頭の働きもそれに対応したものになっています。今日中に学習計画を立て、1日でも早く記述・論述問題へ対応できる頭に切り替えましょう。手っ取り早い方法の一つとして、過去に受けた記述模試(ベネッセ駿台記述模試、河合塾全統記述模試、大学別オープンor実戦模試etc.)の復習がおすすめです。

理由としては、次のような理由が挙げられます…

- (1) 初見の問題ではないので無理なく取り組み、答案作成方法を思い出すことができる。
- (2) テスト形式になっているので、時間を計って取り組み、時間配分の練習になる。
- (3) 解答解説&採点済みの答案を熟読すれば、「復習 = 弱点補強」にもなる。

わずかに数回分ですから、数日でできるでしょう。まずは模試復習からスタートしませんか?

③「過去問」演習は必須 & 「大学案内」で気持ちを切り替える

国公立大二次・私立大入試は、さまざまな出題範囲・内容にわたっています。これに対応するには赤本等で過去問を実際に解いてみるのが何より有効です。過去数年分を繰り返し解いているうちに、その大学の傾向も自然につかめてくるので、直前期の受験準備にはもってこいの教材、です。論述問題の答案は、先生に添削指導してもらおうとよいでしょう。

また、志望校の大学案内(パンフレット)を勉強の合間に眺めるのも気分の切り替えにはおすすめです。志望校に合格したいという気持ちが一層わいてきて、モチベーションが高まり、新たな気持ちで勉強に打ち込めるはずですよ。

自分を過小評価するな!

本日の1限で、センター試験の自己採点結果の提出が終わります。ここで陥りやすい落とし穴があるので注意しましょう。センター試験で「失敗してしまった」と思っている人。まず、過去の模試や演習の得点を思い起こしてみてください。これまでの点数の平均前後の得点だったのならば、それは「失敗」ではなく、現時点での「実力どおり」と考えるのが妥当です。極端に良い点数を期待するのは今後も危険です。何よりも己の実力を伸ばすことに、今日から力を傾けてください。

一番注意しなければならないのは、これまで取ってきた点数には程遠い得点で終わった人です。例えば、「模試では7割前後だったのに6割しか取れなかった」という場合、たまたま一回のテスト結果が悪かっただけです。それを「自分には実力がない」と勘違いして自信をなくし、志望校を下げるといったことのないように。これまでに一度でもいい点数を取ったことがあるなら、あなたにはその実力があります。これから2月・3月にかけて、皆さんはこれまでで最も学力の伸びを実感する時期となるでしょう(もちろん、死に物狂いの追い込みをかけることが大前提です)。例年、1月のセンター試験の結果を大きく上回るランクの大学に、2月・3月の一般入試で合格する人が多数います。今、これからみなさんに必要なのは「諦めずに絶えず前進する気持ち」ですよ。

左頁のCMを見たという人も多いのでは？

毎年12月になるとオンエアされる「カロリーメイト」（大塚製薬）の
受験生応援CM ～「一步を信じる」編～ の今年度版ですね。

受験に
意味があるかどうかは
分からない。
ただ、一步一步
自分の力で
つかみとった景色は、
生涯、忘れないはずだ。

2018年度大学入試シーズンがいよいよ始まりました。

舞台の主役は「あなた」です。

正面から向き合い、全力を尽くし、

あなただけの景色を、是非、目にしてください。